

稲沢市社協

SDGsで地域貢献 法人と企業の連携促す

愛知県の稲沢市社会福祉協議会は、2020年度から「地域づくりを通じたSDGs（持続可能な開発目標）の推進」に取り組んでいる。市内の社会福祉法人や企業にSDGsを普及し、社会貢献活動の促進につなげる。SDGsに取り組む

稲沢市社協は愛知県内では初めて。

SDGsとは、30年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標。15年9月に国連サミットで採択された。17のゴール・169のターゲットから構成されており、市社協が取り組むのは

「住み続けられるまちづくりを」と「パートナーシップで目標を達成しよう」の2項目。

市社協はこれらの目標達成に向け、地域の法人や企業を結び付けるための勉強会を定期的に開催する。SDGsについて理解を深め

いながら地域の福祉課題を掘り起こすのが狙いだ。

抽出した福祉課題に対し、法人・企業それぞれの得意分野を生かした地域貢献活動ができるよう促していく。

7月29日に開催した勉強会では、子ども食堂の開催や子育て支援など、さまざまなアイデアが出た。法人単体では難しいことでも、企業と協力することで取り組みの幅は広がるという。

市社協は今後も勉強会の開催を通じ、地域住民が集まれる場所づくりや、高齢者世帯を対象にした有償ボランティアの仕組みづくりに取り組みたい考え。

(濱本高佑)



勉強会を通じてアイデアを出し合う